



博物館
For School

メールマガジン

山口県立山口博物館

2016年1月号

◆ サテライト展示 1月18日から！！



山口博物館の百年を超える長い歴史の中で収集した資料のうち、これまで展示の機会があまりなかった資料を中心として、山口博物館の7つの分野において、各々の物語に沿った展示を行います。博物館が収蔵している珍しい資料などを、この機会にぜひ御覧ください。

開催期間：平成28年1月18日（月）～2月29日（月）

※休館日：土曜・日曜・祝日

開場時間：9：00～16：30（入場は16：00まで）

会場：山口県埋蔵文化財センター 展示室（山口市春日町3-22）

観覧料：無料

展示資料：天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7分野の展示
（精密日時計、変花崗岩、フタゴヤシ、ヤマネ、辰砂釉花瓶、周布政之助
所用萩焼河豚型徳利、蝸管型蓄音機 他 全76点予定）

会場周辺案内図は、山口博物館のホームページにあります。



今年の干支
「猿の置物（山口萩焼）」も展示予定。

◆博物館展示室 7月中旬再開予定！！

展示室の再開は、7月中旬を予定しております。山口博物館は、天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7分野の展示をしており、豊富な学習資源があります。子どもたちの心に残る体験として社会見学や遠足などでどうぞ御活用ください。

例) 小学校低学年…植物を調べよう、自然の観察 小学校中学年…月と星、季節と生物
小学校高学年…地層のでき方と化石、郷土資料 中学校…植物、動物の仲間、太陽系と恒星など

◆2016年の天文現象！

今年は、国内では4年ぶりとなる部分日食や火星の接近などがあり、眺めるのが楽しくなりそうです。星空を見る際は防寒対策をして、健康に気をつけましょう。山口博物館では3月12日(土)・13日(日)に木星を見る会を予定しています。自由参加ですのでどうぞ御来館ください。

木星を見る会

内容：望遠鏡で木星を観望します。

日時：3月12日(土)・13日(日) 両日とも19:30~21:30

場所：当館(屋上)

対象：自由参加 (詳細は博物館ホームページへどうぞ)



撮影：坪井正紀

〈2016年おもな天文現象〉

3月 9日 部分日食 (山口市周辺は10時頃から11時40分頃まで)
日本では部分日食として見られます。山口では太陽が20%欠けて見えます。インドネシアでは皆既日食が見られます。

5月31日 地球と火星が接近(約7500万km)
火星は地球の外側を公転している惑星です。2016年は、約2年2ヵ月ごとに訪れる火星との接近の年に当たっています。

6月 3日 土星が衝(※)
土星の環の傾きも大きく見やすいです。赤い火星とさそり座のアンタレスも近くに見えます。

※土星の衝(しょう)…土星が地球から見て、太陽の反対側に位置して太陽-地球-土星とほぼ一直線に並ぶときのことによって地球が土星に接近している時期です。

8月12日 ペルセウス座流星群が極大

11月16日 アルデバラン食(沖縄を除く全国で見ることができます。)
おうし座の1等星の1つアルデバランが、月の東側から潜入し、西側から出現する様子を見ることができます。

12月14日 ふたご座流星群(満月のため月明かりの影響が大きく観測にはよい条件ではありません。)

■お問い合わせ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2

TEL 083-922-0294

FAX 083-922-0353